

# 2023年12月期 第3四半期決算説明資料

---

当社の設立は2018年7月ですので、2018年6月までの実績は  
モバイルクリエイイト株式会社の連結実績で集計しております



2023年12月期第3四半期決算概要	p. 2
事業のトピックス	p. 8
参考資料：中期経営計画概要	p. 15
参考資料：2023年12月期第3四半期補足資料	p. 19

# 2023年12月期第3四半期決算概要

---

# メイン事業の新規サービス開発と成長分野ロボットの事業展開を推進

## FY2024に向けたサービス拡充を図る

- ✓ サブスク売上高は順調に拡大（前年度大型案件の横浜敬老パスは運用に移行済）
- ✓ 物流向けに当社基盤サービスの動態管理システムをリニューアル、顧客基盤の拡大
- ✓ FA・自動化向け市場に搬送ロボットとWCS（倉庫制御システム）の開発を推進
- ✓ 得意とする交通系サービス（タクシー向け新サービスやバス向けの決済ソリューション追加など）も展開準備中
- ✓ 決済システムは交通分野以外で自治体へも4Qに初導入

# FY2023 3Q 業績サマリー

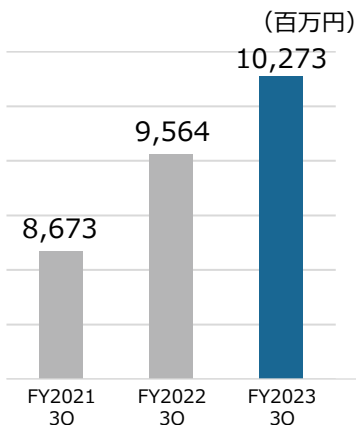
## 売上高

**102.7** 億円

前年同期比：7.4%

通期業績予想：13,500 百万円

進捗率：76.1%



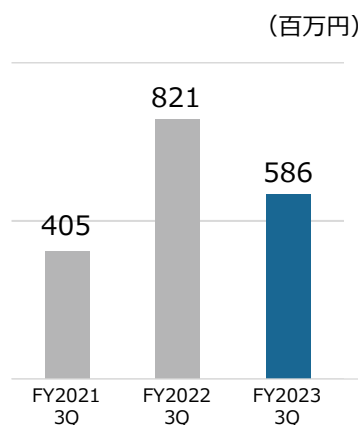
## 営業利益

**5.9** 億円

前年同期比：△28.5%

通期業績予想：800 百万円

進捗率：73.3%



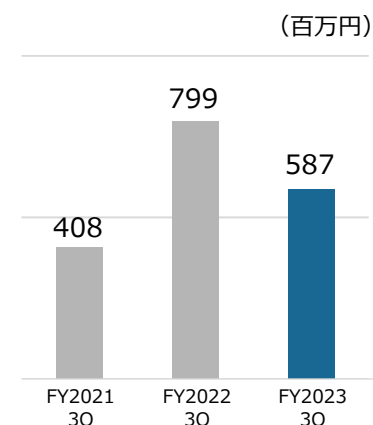
## 経常利益

**5.9** 億円

前年同期比：△26.5%

通期業績予想：765 百万円

進捗率：76.8%



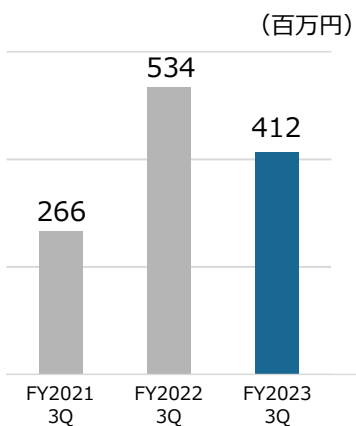
## 最終利益

**4.1** 億円

前年同期比：△22.9%

通期業績予想：535 百万円

進捗率：77.1%



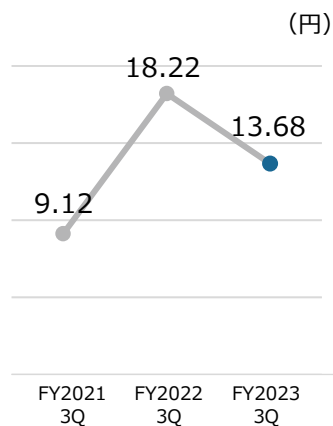
## EPS

**13.68** 円

前年同期比：△4.54 円

通期業績予想：17.40 円

進捗率：—



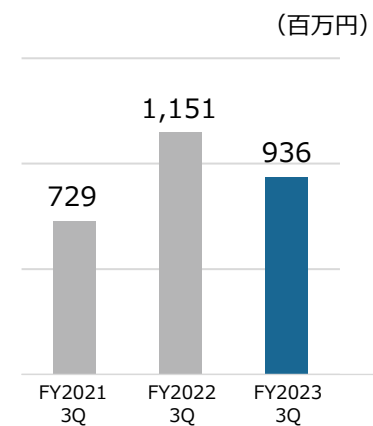
## EBITDA

**9.4** 億円

前年同期比：△18.7%

通期業績予想：—

進捗率：—

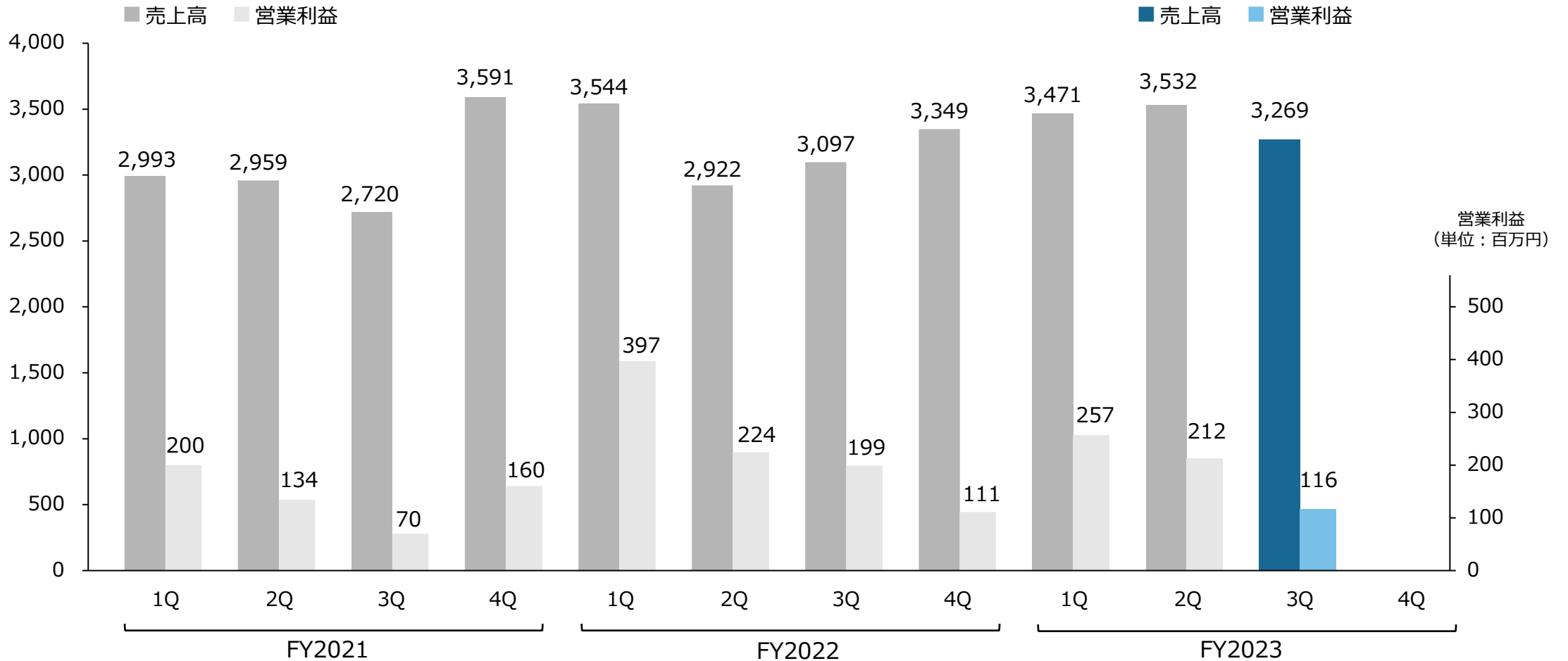


※最終利益 = 親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

# 四半期業績（売上高・営業利益）

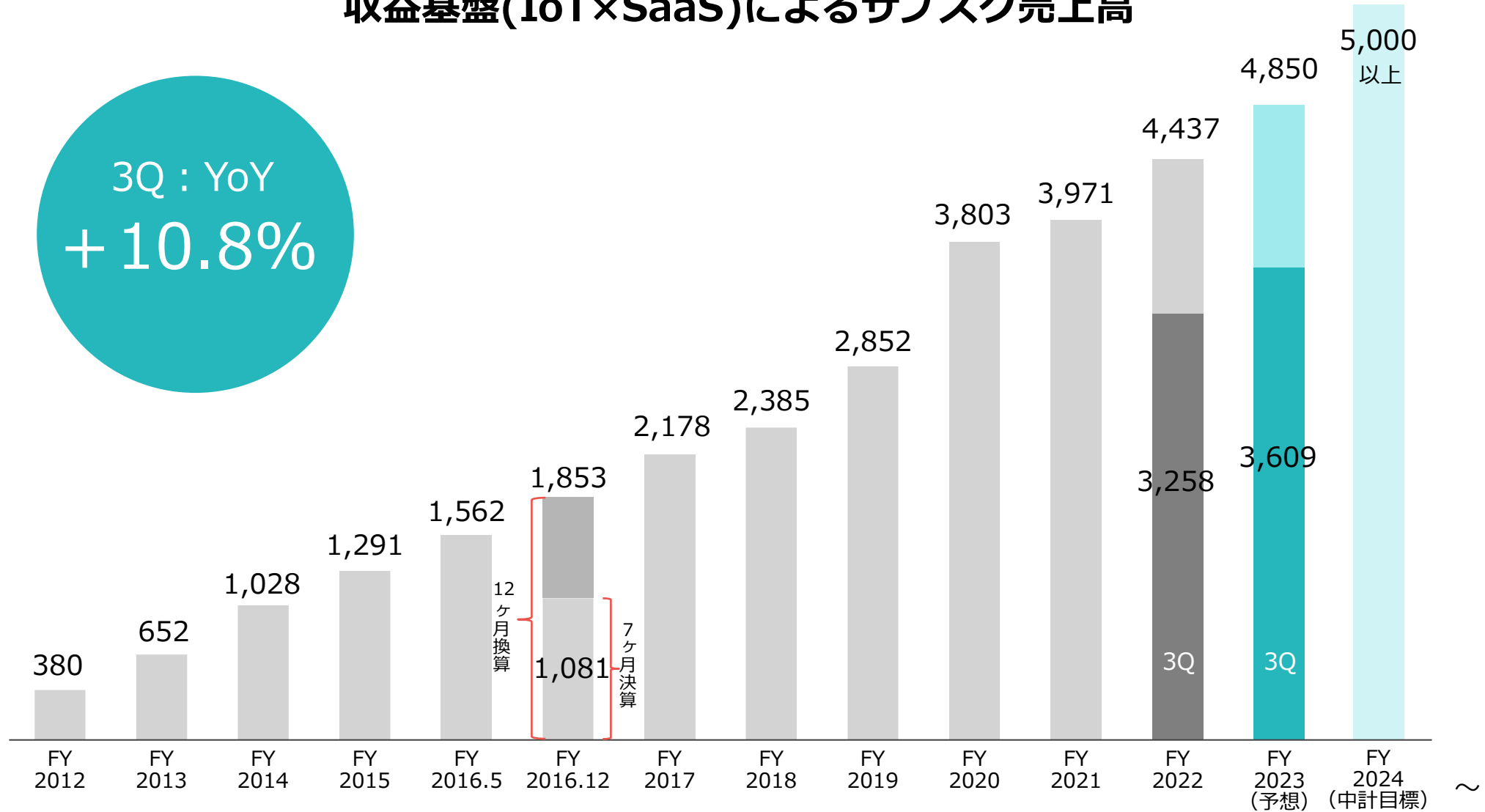
売上高  
(単位：百万円)



収益基盤(IoT×SaaS)によるサブスク売上高

(単位：百万円)

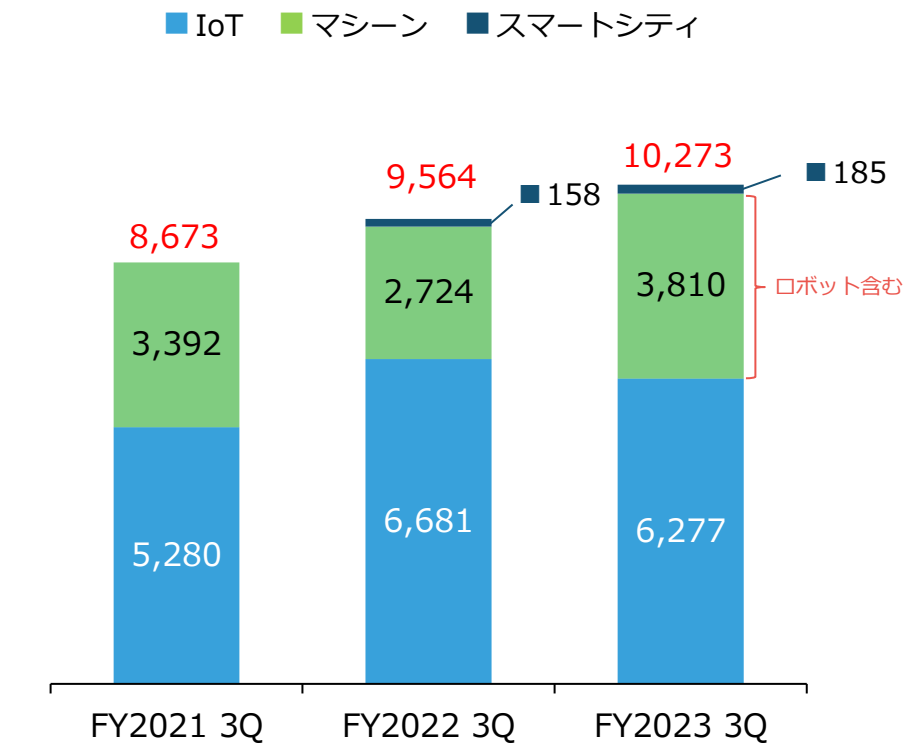
3Q : YoY  
+ 10.8%



# セグメント別業績（3Q累計）

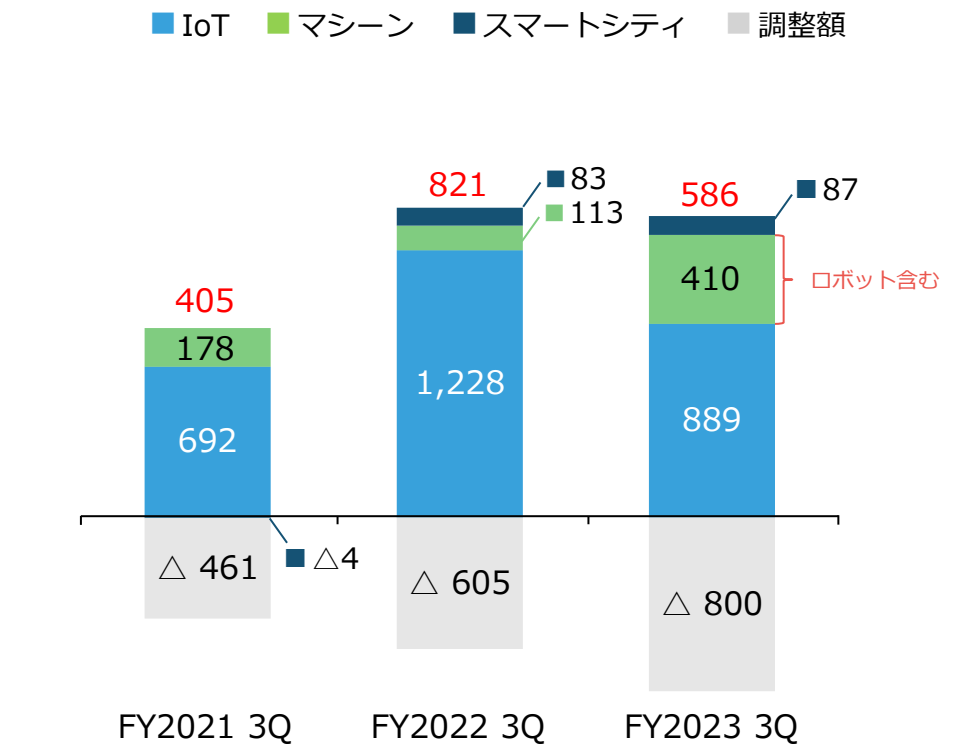
## 売上高

(単位：百万円)



## 営業利益

(単位：百万円)





# 事業のトピックス

---

# ロボット（FA向けラインナップの追加）



## 自社製FA-AMRを開発中

### 開発目的

- ✓ FA向け自社オリジナルのAMR（自律搬送ロボット）製品化
- ✓ 自社オリジナルの製品化により高いカスタマイズ性を実現

### 今後の開発方向

- ✓ WCS（倉庫制御システム）との連携
- ✓ AGV・AMRプラットフォームでロボット制御の統合管理を実現



# AMR



開発中

# 自社 AMR

※プロトタイプ



# 他社AMR + マニピュレータ



# GTP型 AGV



SLAM式

GRID式

## 農薬散布ドローンのラインナップ



R-70

最大15m



散布幅

70L



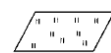
タンク容量

20分



飛行時間

6ha以上



散布能力



R-17 V2

最大6m



散布幅

17L



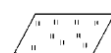
タンク容量

35分

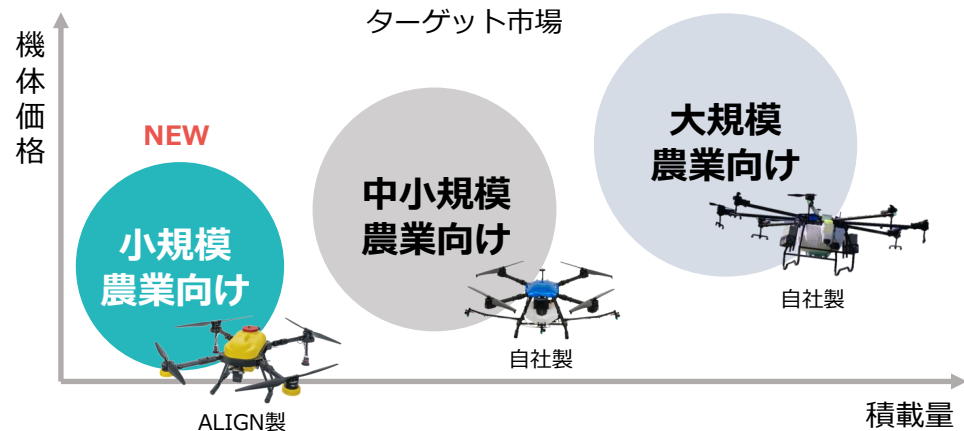


飛行時間

2ha以上



散布能力

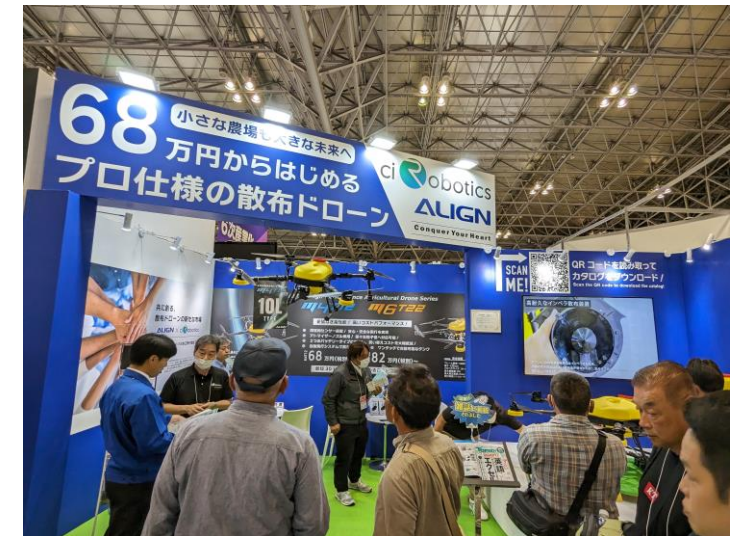


## 台湾のドローンメーカーALIGN社の販売代理店に認定

- ✓ 世界的なラジコンヘリコプターメーカーである台湾のALIGN社にて「ALIGN農薬散布ドローン整備講習」を受講し、日本におけるALIGN製品の販売代理店として認定
- ✓ 世界的なラジコンヘリコプターブランドに裏付けられた高性能・高品質だけでなく、安い機体価格によって生産者様を中心に来場者の注目を多く集めることに成功
- ✓ 展示会ではciRoboticsの一次販売代理店を希望される来場者多数



M4T12  
(10Lモデル)



展示会出展 農業WEEK国際スマート農業EXPO

# 「DiDi」 との連携によるドライバーアプリのワンタブレット化が提供開始

## 「DiDi」と連携した当社開発のタブレットが初導入決定

- ✓ 従来、乗務員が複数のタブレットを操作する必要があったが、業務効率および安全上での課題あり
- ✓ モバイルクリエイイトが提供するタブレット上で「DiDi」のドライバーアプリも使用可能  
1つのタブレットで両方の注文の受付を実現し、業務効率改善と操作性・安全性の向上に貢献
- ✓ 以下のタクシー会社で11月より順次提供開始
  - ・新東宝タクシー株式会社（大阪）：11/1～
  - ・株式会社ケーエス北の星観光バス（北海道）：11/6～

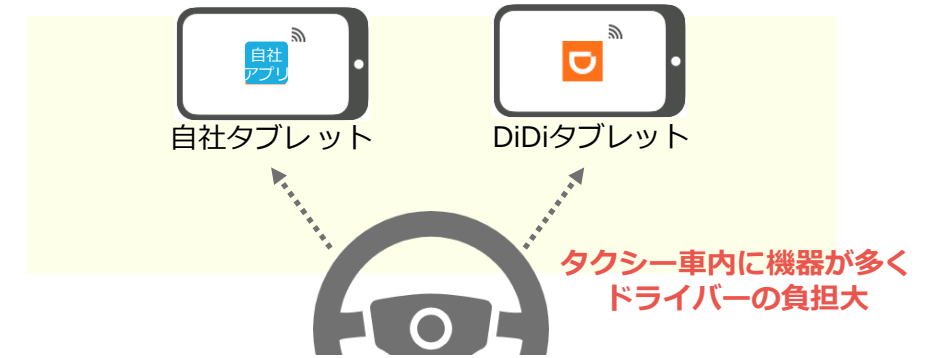


- ・ワンタッチで**DiDiアプリへ切り替え**が可能
- ・DiDiの注文が入った時は**自動でDiDiへ切り替え**



### 従来

各社のアプリが独立しており、それぞれで注文を受注



### 今後

複数アプリのワンタブレット化で  
ドライバーの業務効率改善と操作性・安全性の向上へ



# 動態管理システム「モバロケ」リニューアル

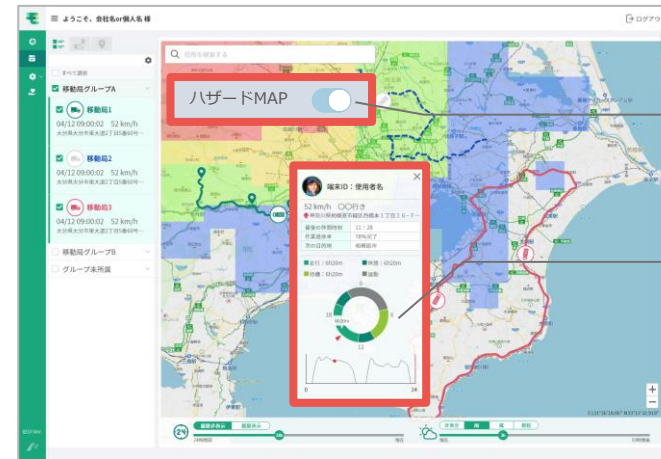
## スマホ版「モバロケ」が新たに登場



管理者がどこに居ても  
車両の位置を把握することが可能に

確認したい車両を指定

## 外部情報の取り込みが可能に



ハザードマップや防災情報との連携可

ドライバーの稼働状況を可視化

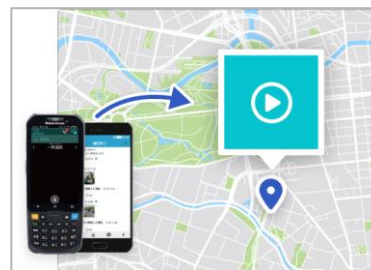
## 「モバロケ」の主な機能 (物流など商業車両を中心に約65,000台導入済み、リニューアルで顧客基盤拡大)



①履歴表示機能



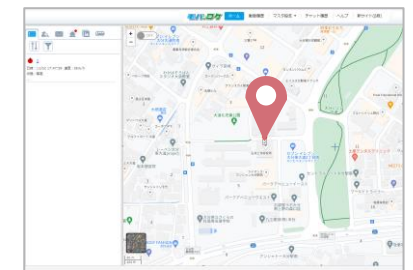
②特定端末の追跡機能



③地図プロット機能



④メッセージ機能



⑤緊急スイッチ機能

# 東南アジアでの拠点としてタイに現地法人 Thai K.T.R Co., Ltd. を設立



## FIGグループの海外拠点



### タイを中心とした ASEAN諸国の取引拡大を図る

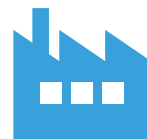
- ✓ ホテルマルチメディアシステムの販売
- ✓ FA向け装置やロボットの販売
- ✓ グループ会社へタイからの部材調達

#### タイランド4.0とデジタル化



労働人口が減少すると見込まれ、自動化や省人化のビジネスチャンス

#### 日系製造メーカーとの連携



現地ニーズを把握することでFA向けソリューションを展開

#### 部材の調達拠点に



タイのサプライヤーとの連携により同地域を調達拠点の1つに

# 株主優待の拡充



## FIGプレミアム優待倶楽部

当社株式への投資の魅力を高めることを目的として、株主優待ポイント制度を変更（拡充）

4,000種類以上の優待商品からポイントと交換！



変更前

保有株式数	進呈ポイント数
1,500株～1,999株	5,000 point
2,000株～2,999株	8,000 point
3,000株～3,999株	15,000 point
4,000株～	20,000 point



変更後

保有株式数	進呈ポイント数
1,500株～1,999株	5,000 point
2,000株～2,999株	8,000 point
3,000株～3,999株	15,000 point
4,000株～5,999株	20,000 point
<b>6,000株～</b>	<b>40,000 point</b>

※ポイントは次年度へ繰り越す事が可能（最大2年間有効）

※ポイントの繰越には翌年12月末現在の株主名簿に前年度と同一の株主番号で記載されていることが条件

# 中期経営計画概要

## FY2022 – FY2024

---

実績値と直近の業績予想については数値を更新しております



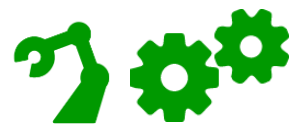
## IoT事業を支えるマシン事業とスマートシティ事業

IP無線 タクシー バス トラック ペイメント ホテル ロボット ドローン

### IoT（基盤拡大+成長投資）



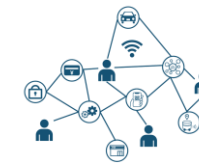
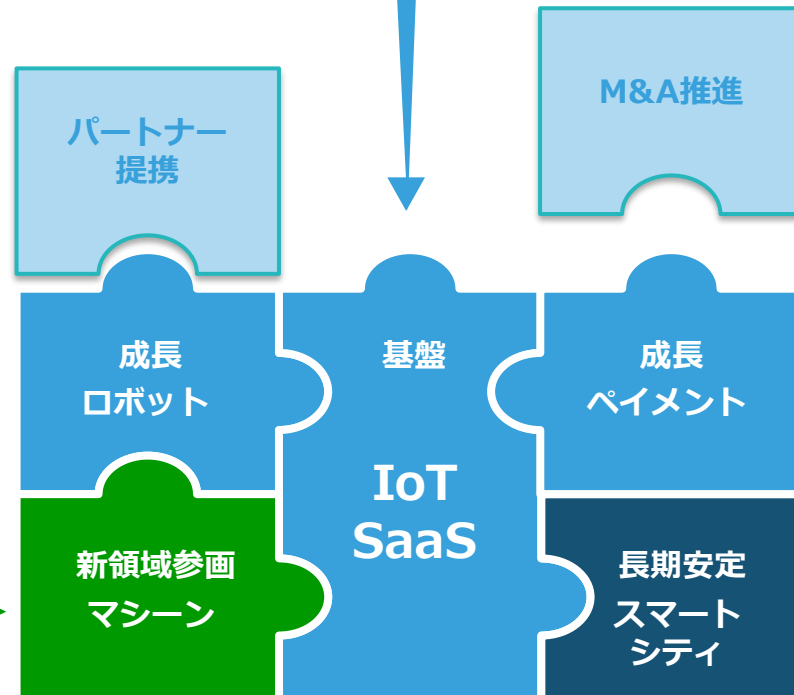
積極的投資とM&A推進による成長  
 基盤のIoT×SaaS事業拡大  
 ペイメント事業とロボット事業を新たな中核事業に発展（3年後に単独セグメント化を目指す）



半導体製造・自動車関連装置  
 ロボット製造

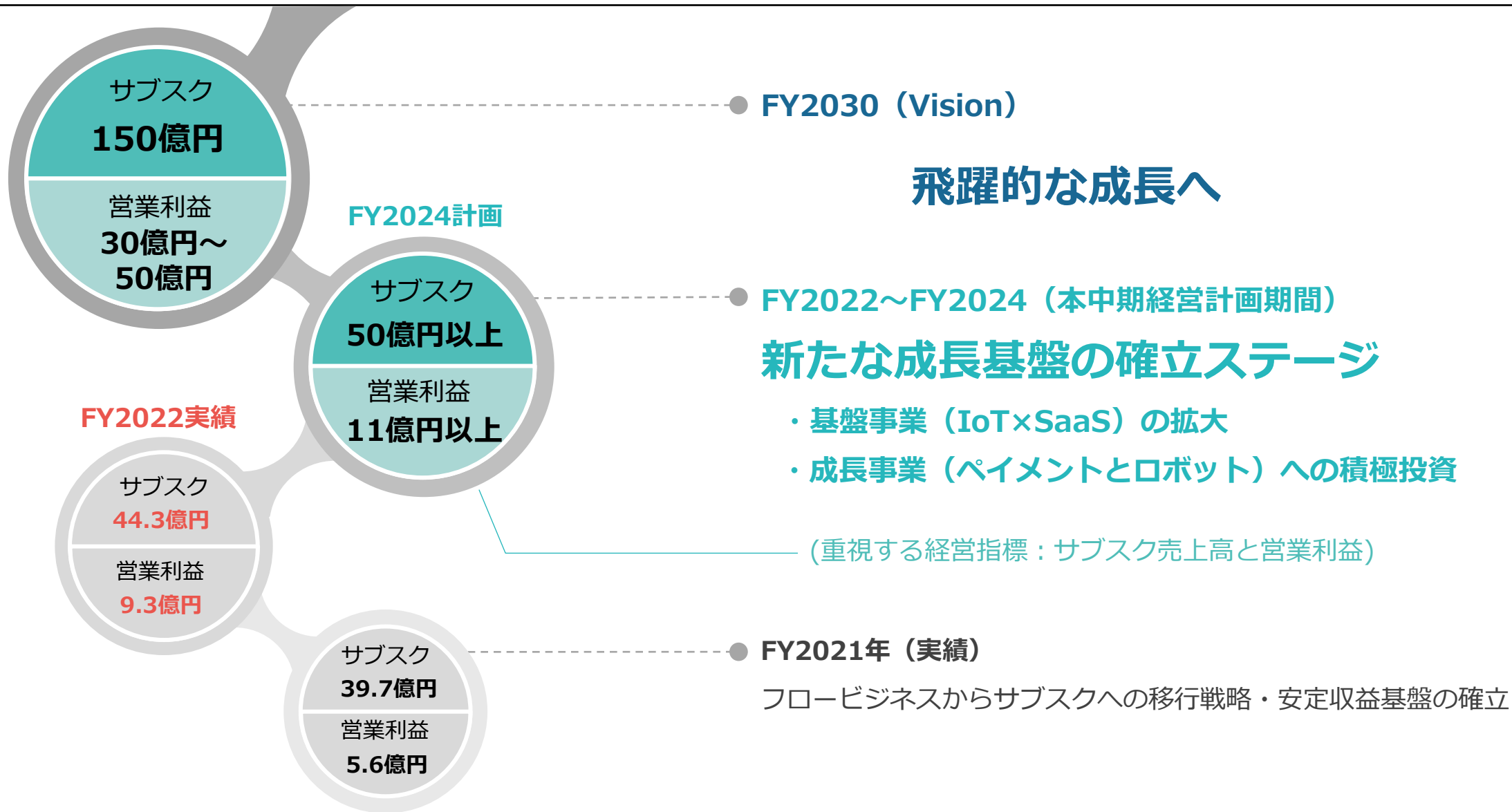
### マシン（改革・新領域参画）

IoTに必要なモノづくりの技術領域として  
 規模拡大ではなく質の向上（収益改善）  
 ロボット事業に本格的参画（改革）



### スマートシティ（長期安定）

賃貸マンション30年一括借上契約  
 の長期安定収益  
 スマートシティの実証フィールド  
 としてIoTを支える



## KPI（収益と資本効率）

	FY2021（実績）	FY2022（実績）		2023.7.31業績予想修正 FY2023（予想）	FY2024（KPI）
サブスク売上高	39.7億円	44.3億円	→	48.5億円	50.0億円以上
営業利益	5.6億円	9.3億円	→	8.0億円	11.0億円以上
EPS	15.12円	23.36円	→	17.40円	24円以上
ROE	5.2%	7.5%	→	—	8%以上
ROIC	2.7%	3.8%	→	—	4.5%以上
売上高（全体）	122.6億円	129.1億円		135.0億円	—
株主資本コスト (CAPMによる算出)	4.8%	5.3%			
WACC	2.9%	3.3%			

# 2023年12月期第3四半期補足資料

---

## セグメント別業績（四半期推移）

単位：百万円

売上高	2022年12月期					2023年12月期					前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	増減額	増減率
連結	3,544	2,922	3,097	3,349	12,914	3,471	3,532	3,269		10,273	+708	7.4%
IoT	2,389	2,120	2,172	1,991	8,672	2,217	2,120	1,939		6,277	△403	△6.0%
マシーン	1,119	746	859	1,295	4,020	1,191	1,350	1,268		3,810	+1,085	39.9%
スマートシティ	36	55	66	62	220	62	61	61		185	+26	16.6%

営業利益	2022年12月期					2023年12月期					前年同期比	
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	増減額	増減率
連結	397	224	199	111	932	257	212	116		586	△234	△28.5%
IoT	560	318	349	181	1,410	445	217	226		889	△339	△27.6%
マシーン	△2	74	40	146	259	60	225	124		410	+296	261.3%
スマートシティ	20	36	27	31	115	30	29	27		87	+3	4.3%
調整額	△181	△205	△218	△248	△853	△278	△258	△263		△800	△195	-

# 貸借対照表

単位：百万円

	2022年12月期末		2023年12月期3Q			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	補足
流動資産	14,058	65.5%	14,946	65.2%	+887	受取手形、売掛金及び契約資産 +983 棚卸資産 +219 流動資産その他 △138
うち現預金	2,199	10.2%	2,166	9.5%	△32	
固定資産	7,405	34.5%	7,981	34.8%	+576	投資有価証券 +386
資産合計	21,463	100%	22,928	100%	+1,464	
流動負債	5,803	27.0%	6,702	29.2%	+898	支払手形及び買掛金 △218 短期借入金 +807 1年内返済予定の長期借入金 +291
固定負債	5,951	27.7%	6,357	27.7%	+406	長期借入金 +393
負債合計	11,754	54.8%	13,060	57.0%	+1,305	
純資産合計	9,709	45.2%	9,867	43.0%	+158	
負債・純資産合計	21,463	100%	22,928	100%	+1,464	

# 会社概要



Future Innovation Group

FIG (東証プライム・福証本則)

純粋持株会社

商号

FIG株式会社 (Future Innovation Group, Inc.)

設立

2018年7月2日 ※グループ前身のモバイルクリエイイト設立は2002年

代表者

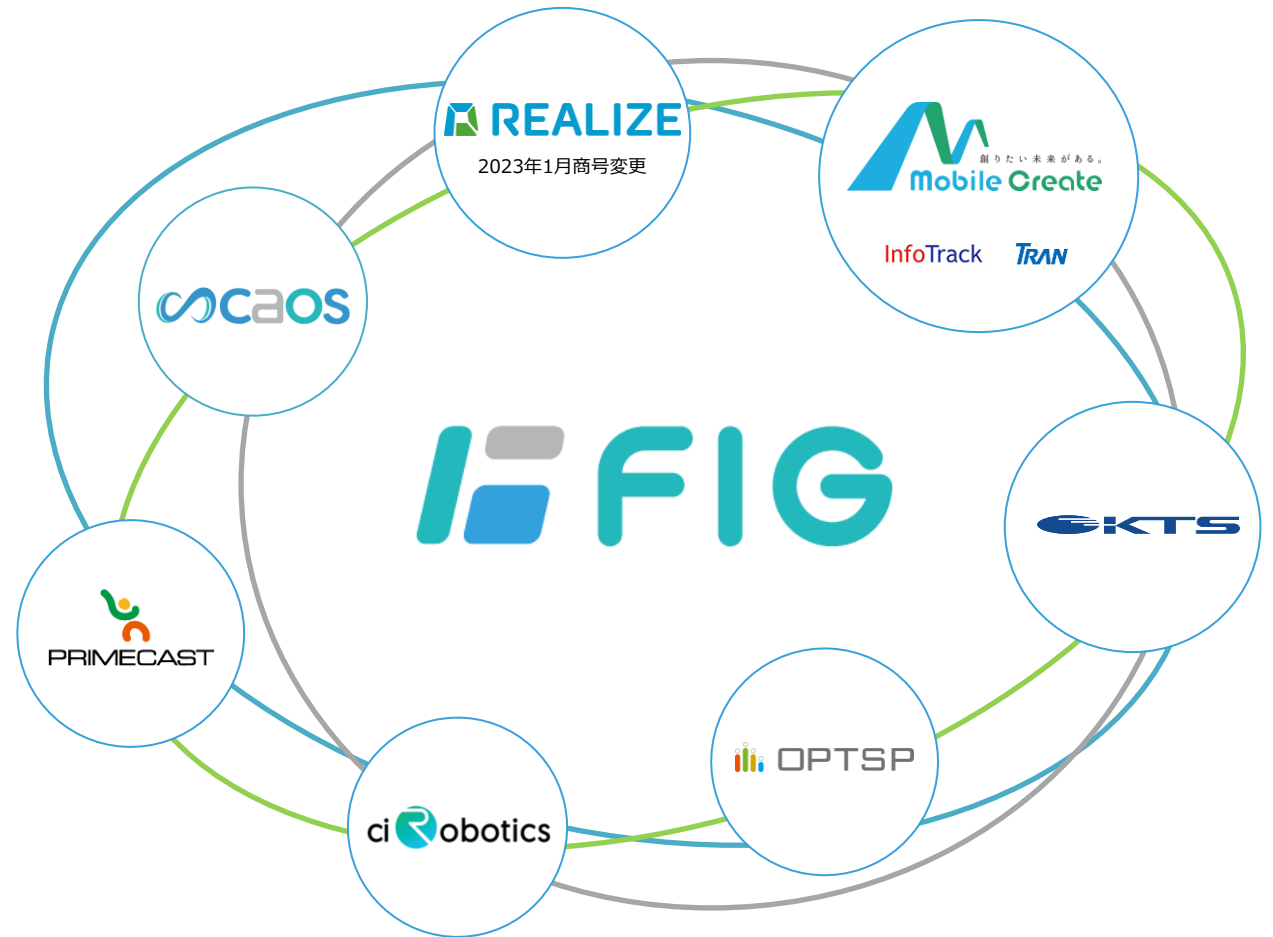
代表取締役社長 村井 雄司

所在地

大分県大分市東大道二丁目5番60号

従業員数

739名 (2022年12月末現在連結)



# FIGグループの主な事業紹介

## IP無線システム



携帯インフラを活用したIP無線システムのパイオニア。主力の車載タイプに加えて、防災市場ではハンディタイプが好調でLINE連携も展開。

## タクシー配車システム

タクシー配車システム、車載端末はタブレット化でメーターと連動。配車室受託が好調で、ユーザー向けLINE配車もサービス開始。



## ペイメント

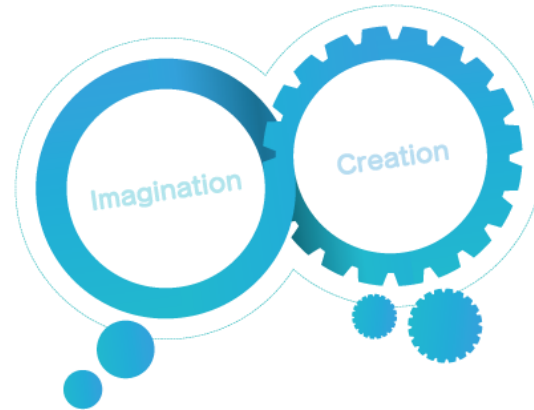
得意とする公共交通を中心にペイメントサービスを展開し、高いセキュリティ基準であるPCIDSSも取得。沖縄本島IC乗車券システムのOKICAは、商業拡張をスタート。



## バスロケーションシステム



バスの経路や乗り継ぎ検索、接近情報などをバス利用者へ提供。バスロケーションシステムでは、国内トップレベルのシェア。デジタルサイネージや混雑情報システムなども展開。



## 半導体・自動車関連自動化装置

自動車部品を製造する装置を開発から設計・製造・組立・販売・サービスまでトータルで手掛け、メーカーとして高い評価を得ています。



## ホテルスマート化



ビジネスホテルやシティホテル向け客室のマルチメディアシステム、リネンシステム（客室清掃管理）や施設混雑案内システムなどIoTを活用しています。

## ロボット



マップデータを元に走行を行い、コンピューターが人の代わりに作業を行います。ロボットシステムインテグレーターだけでなく、自社オリジナル搬送ロボットも開発。

## ドローン



産業用ドローンの開発・販売を行っています。ドローン活用における省人化の実証実験にも参画しています（ドローン宅配・スマート農業・血液検体の輸送など）。



ESG・SDGsの視点を取り入れた事業戦略でサステナブル経営を目指す



Environment

ITで地球環境負荷低減へ貢献

- 自社の製品・サービスによる環境負荷低減
- 事業活動で排出される廃棄物削減、資源化率の向上、自然エネルギーの利用
- 有害物質使用削減への取り組み
- 地域環境の保全



Social

グループの技術で快適な未来を創造

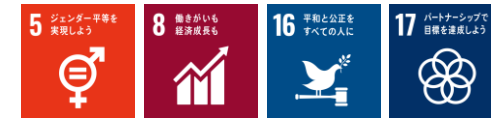
- Society5.0の社会を支える技術・サービスの提供（ドローン・ロボット）
- 持続可能な地域交通に貢献する（バス・タクシー）
- キャッシュレス化社会の実現に貢献する
- MaaSの普及に貢献する
- 防災・減災・安全に貢献する
- スマートホテルを実現する技術の追求
- はたらきやすさ（健康増進・ダイバーシティ推進）を提供する



Governance

経営基盤を強固にするためのガバナンスの強化

- コーポレート・ガバナンスの徹底
- 社外役員の登用
- 役員報酬額の決定方法
- コンプライアンスの順守・研修の実施
- 反社会的勢力排除への対応
- 情報セキュリティの強化





Future Innovation Group

【 連絡先 】 F I G株式会社 経営企画本部  
【 住所 】 大分県大分市東大道二丁目5番60号  
【 T E L 】 097 - 576 - 8730

本発表において提供される資料及び情報は、いわゆる「見通し情報(forward-looking statements)」を含みます。これらは現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。これらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。